# レンジフードファン取付説明書

取扱説明書・取付説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

壁スイッチ仕様・連動ダンパー仕様で補足説明書が同梱されている物は、それに基づき電気工事を行ってください

# 安全上のご注意

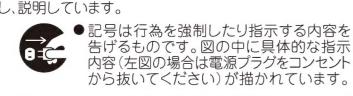
こに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に 防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った 取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。 いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。 ○記号は行為を禁止する内容を 告げるものです。図の中や近傍に 具体的な禁止内容(左図の場合は

分解禁止)が描かれています。



## 告

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解 したり修理・改造をしないこと 発火・感電したり、異常動作してけがを するおそれがあります

● アースを確実に取り付けること

アースの取り付けは販売店にご相談く

は、空気の取入口(給気口)により

● 排気工事をされる場合は建築基準法(同

施工令) および消防法などの関連法規に

従って法的有資格者が工事を行うこと

●レンジフードファンは、薄板の金属部

(壁内ラス網など)と接触しないよう

十分給気される配慮を

排気ガスが室内に逆

流し、一酸化炭素中

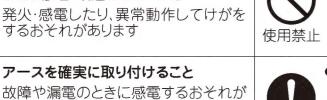
毒を起こすおそれが 国担

火災などの原因になります

取付注意 漏電した場合、発火するおそれがあります

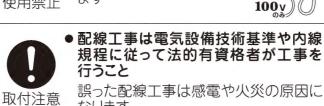
あります

すること

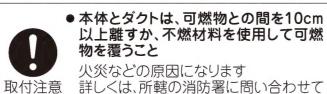


しないこと 火災・感電の原因になり

● 交流100V以外では使用



●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または ● 自然排気型のストーブを使用するとき 金属板張りの木造の造営物に金属製 ダクトが貫通する場合、金属製ダクトと メタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気 的に接触しないよう取り付けること 取付注意 漏電した場合、発火したり感電する おそれがあります



●ファンや部品の取り

付けは確実に行うこと

落下によりけがをする

● 取り扱いの際は、必ず厚

手の手袋をすること

●レンジフードファンの壁への埋め込み はしないこと

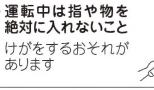
漏電した場合、発火するおそれがあります

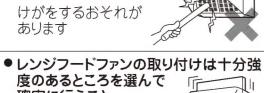
(2) 前板をはずします。

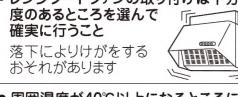
#### 埋込禁止 ⚠注 意

●運転中は指や物を 絶対に入れないこと けがをするおそれが

取り付けること

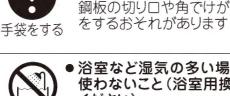








● 周囲温度が40℃以上になるところには 取り付けないこと 火災·故障の原因になります



● 浴室など湿気の多い場所では絶対に 使わないこと(浴室用換気扇をお使い ください) 使用禁止 感電および故障の原因になります

大工工事(設置のための下地工事等) 配線工事(コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等) 管工事(ダクト配管及びレンジフードファンからのダクト接続等)

● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が行う必要があります。

流通業者(販売店)を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別 して行ってください。

でください。

ことを確認してください。

取り付けないでくだ

さい。また、横方向

50cm以上離して取り

付けてください。湯

沸器の真上は高熱に

なるため故障の原因

建物が密閉されて

いる場合は必ず、約

400cm 程度の空気

取入口を設けてくだ

になります。

さい。

が低下します。 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けて ください。

調理機器の幅はレンジフードファンの幅以内の

調理機器はレンジフードファンの前面より手前

にはみ出して設置しないでください。排気効率

ものをご使用ください。

ようにしてください。

の対応をしてください。

火災·故障の原因になります。 レンジフードファン取り付け面の木部に、取り付け 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップ またはパイプフードの通気抵抗は400m3/h時

50Pa以下のものをご使用ください。 防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が 低下する場合がありますので使用しないでくだ さい。 ●レンジフードファン下部には、湯沸器を絶対に

● ダクトの不燃処理について ダクトを50mm以上の不燃材料、または20mm 以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料

で被覆してください。 施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術 指導書」・「検査要領書」に従ってください。

▶製品は調理機器の真上 に取り付けてください。 なお、製品取付高さは、 製品の下端が調理機器 の真上80cm以上になる 調理機器の **80cm以上** 真上! 2

▶寒い地域ではダクトが結露し本体内に結露水 が流れる場合がありますので断熱材を巻くなど

部屋の中央で料理される場合は、油煙が捕集 しきれませんので、お台所の全体換気のために 他の換気扇と併用していただければ、より すぐれた換気ができます。

|●製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめ

● 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に

屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下

させたり、騒音が大きくなりますので使用しない

用木ねじが確実に届くことを確認してください。

本体の取り付け用木ねじは、45mmの長さのもの

が同梱されておりますが、壁下地に石膏ボート

等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを

確認し、取り付け用木ねじが確実に木部に届く

# - 取り付け上のお願い —— 取り付け前の調査と準備

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解し たり修理・改造をしないこと 発火・感電したり、異常動作してけがを

するおそれがあります

付けること

改造禁止



● 排気工事をされる場合は建築基準法(同 施工令) および消防法などの関連法規に 従って法的有資格者が工事を行うこと

火災などの原因になります ●レンジフードファンは、薄板の金属部 (壁内ラス網など)と接触しないよう取り

●レンジフードファンの壁への埋め込みは しないこと 漏電した場合、発火するおそれがあります

取付注意 漏電した場合、発火するおそれがあります 埋込禁止 ● 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと 火災などの原因になります 詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください 取付注意

●レンジフードファンの取り付けは十分強度 のあるところを選んで確実に行うこと 落下によりけがをする おそれがあります



● 取り扱いの際は、必ず厚 手の手袋をすること 鋼板の切り口や角でけが 手袋をする をするおそれがあります

●周囲温度が40℃以上になるところには 取り付けないこと 火災·故障の原因になります 取付禁止

1. 取り付け面の強度確認 ……・製品を支える強さが必要です。

600幅 13.0kg 750幅 14.0kg

900幅

■板張りの場合

● 板厚が20mm以下の場合には壁に補強板を埋め込み補強板にレンジフードファンを取り付けてください。 ● 板厚が20mm以上の場合は補強板の必要はありません。

15.0kg

■コンクリート、タイル壁の場合

あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。

● 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでください。

2. 別売部品の準備

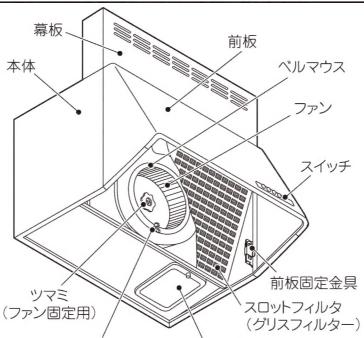
排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は調理機器の上面から製品の下端まで80cm以上です。 (詳細は標準取付例[製品寸法図枠内]をご参照ください)

※火災予防条例では、グリスフィルターの下端が調理機器の真上80cm以上必要となっています。 4. 電源コンセント・ブレーカー

電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。(交流・単相 100V) コンセントは、JIS C8303 2極差込接続器 (15A125V) をご使用ください。

### 各部のなまえ 製品寸法図



(注) この製品は上方排気の仕様となっております。 ※ 左右側方・後方排気の場合は」形ダクトが必要です。 L形ダクトは機種により別売の場合と製品に同梱されている場合があります。 幕板寸法はお買い上げになられた機種により異なります。 アース接続端子詳細図 だるま穴詳細(2ヶ所) (天吊り仕様用) 側方排気の場合 後方排気の場合 上方排気の場合 (L形ダクト使用時) (L形ダクト使用時) ======= ⊕ v 135 600.750.900 210-260 | 345-365-380-400 |

6.ダクトと排気用部品の接続

45mm以上

ーリリングタッピンねじ

(25mm以下のねじを

ご使用ください)

使用範囲

15mm以上

アルミテープ等で排気口の

標準取付例 調理機器 (単位:mm

品名 用途 (2) DODDODDODDODDODDODDODDODDODDODDOD 本体の取り付け 木ねじ に使います。 (b4.5×45) 2本 (3 )mmmmm> 本体の取り付け 座付ねじ に使います。 (φ5.1×45) 4本 本体とダクトの 接続に使います。 排 気 口 逆風防止シャッ ター付きです。 排気口とダクトと ソフトテープ の隙間をふさく のに使います。 幕板 本体正面の目隠 (付属品でない しに使います。 場合もあります)

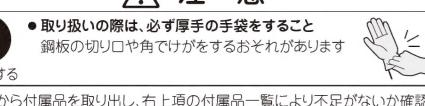
属

付

品

# 1.付属品の確認

**注** 



梱包箱から付属品を取り出し、右上項の付属品一覧により不足がないか確認し

お願い 取り付け作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。

## 2.排気方向の決定

● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造 営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、 ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること 漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります

● 排気工事をされる場合は建築基準法 (同施工令) および消防法 などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと 火災などの原因になります



● 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を 使用して可燃物を覆うこと 火災などの原因になります 詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください

注 ● 浴室など湿気の多い場所



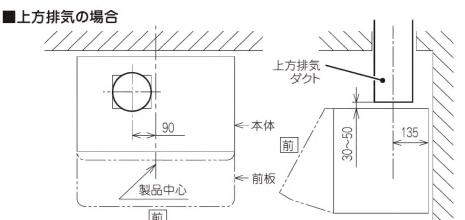
では絶対に使わないこと (浴室用換気扇をお使い ください) 感電および故障の原因 になります

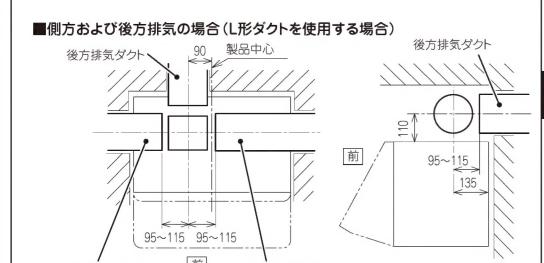


ないこと

● 周囲温度が40℃以上に なるところには取り付け 火災·故障の原因になり

(1) 製品寸法図を参照し、壁穴を開けます。 (2) 6150のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを下図のようにレンジ フードファンの天面に突き出すようにセットして、周囲を仕上げます。 (コンクリート、タイル、土壁の場合)



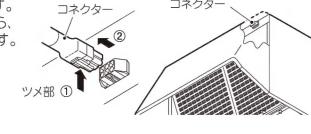


# 3.本体の準備

右側方排気ダクト

(1) コネクターをはずします。 ①のツメ部を押しながら、 ②の方向へ引き抜きます。

左側方排気ダクト



#### 本体ツメ部 前板固定金具を下図①のように回 転させ、ロックを解除し、前板ツメ穴 (両手で手前に引く) を本体ツメ部からはずし前板を両手 で持ち、手に引いてはずします。 前板ツメ穴 前板固定金具 本体固定部-前板固定部-ロック状態 (前板をはずすとき) (前板をつけるとき (3) スロットフィルタをはずします。 スロットフィルタのとってを持って上にあげ、 手前に引きます。 スロットフィルタをはずす際は、必ず 手を添えてください。添えないと落下 するおそれがあります。

ベルマウス取付ねじ

取

※ 天吊り仕様の場合は、製品寸法図に記載され ている2-φ12ハーフカットをドライバー等を当 てて木ハンマー等で打ち抜きます。



シャッターの開き方向

差込部

L形ダクト

# 4.排気用部品の準備

取付ねじ

1.付属品の確認 の項で取り出した排気口を準備します。 ■上方排気の場合 シャッター

(1) 排気口に付属品のソフトテープを 貼り直接本体に取り付けます。 (2) 排気口は本体上面の差込部に差し 込み、取付ねじ2本で取り付けます。 (取付ねじはあらかじめ本体の排気

(2) 排気口は、L形ダクトに付属の取付

(本体への取り付けは後で行います)

ねじ4本で取り付けます。

お願い

取付注意

口取付部に取り付けてあります) ■側方および後方排気の場合 (L形ダクトを使用する場合) (1) 排気口に付属品のソフトテープを 貼りし形ダクトに取り付けます。

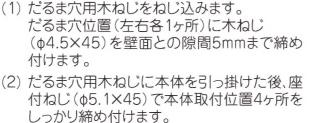
L形ダクトを使用しないで、排気口に直接ダクトを接続して側方・後方排気する 場合は、シャッターの開く向きに注意して排気口を取り付けてください。 下図の「誤った接続例」の場合、排気不良や異常音の原因となります。 ダクト、/ 開く シャッター 排気口



## 5.本体の取り付け

●レンジフードファンの取り付けは十分強度 のあるところを選んで確実に行うこと 落下によりけがをするおそれがあります

**企注** 



お願い 上方排気の場合は、ダクトに排気口

ください。 (3) だるま穴用木ねじ(左右 各1ヶ所)をしっかり締め 付けます。

を差し込みながら本体を取り付けて 座付ねじ  $(\phi 5.1 \times 45)$ 

# ■上方排気の場合 (1) 風漏れ防止のテーピング(アルミ とって

ランプカバー

仃

け

お願い

ください。

ドリリングタッピンねじなどで

排気口を固定する場合は、

シャッターにねじがあたらない

ように図のドリリングタッピン

ねじ使用範囲内に固定して

テープ)を行います。

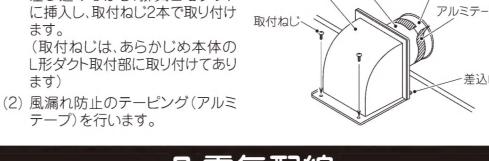
排気口設置面の漏風確認のお願い

#### 排気口とダクトを接続する際に、無理に ダクトにレンジフードファンの排気口を 接続しようとすると、排気口と排気口の 設置面(フード天面等)が変形し、排気 漏れが発生してしまう場合があります。 排気漏れ確認の為に、ダクトと接続後 は試運転(強運転)を行ってください。 漏風する場合は、排気口と設置面の 周りをアルミテープ等(現地手配)で 漏風防止処置を行ってください。

ます)

#### 四方をテープ貼り ■側方および後方排気の場合(L形ダクトを使用する場合) (1) L形ダクトを本体上部の差込口に

差し込みながら、排気口をダクト に挿入し、取付ねじ2本で取り付け ます。 (取付ねじは、あらかじめ本体の



発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしない



分解·修理

● アースを確実に取り付けること 故障や漏電のときに感電するおそれがあります アースの取り付けは販売店にご相談ください



取り付ける

100v ● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格 者が工事を行うこと

幕板取付金具

(本体内側から

ゆるめる)

誤った配線工事は感電や火災の原因になります (1) アース(D種接地工事)を取ります。 ※アース線は取り付け作業側にて手配します。

● 交流100V以外では使用しないこと

火災·感電の原因になります

(2) 分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。 お願い ● 電源は専用のコンセント(2極差込接続器 15A、125V) およびブレーカーを

設けてください。 ●コンセントは、電源コードの長さを考慮して設置してください。

## 8.幕板の取り付け

※ 幕板を取り付ける場合

(1) 幕板取付金具のねじ(左右各1ヶ所)を ゆるめ、幕板を前から差し込みます。

(2) 幕板の取付位置を決め、幕板取付 金具のねじを締め付けて固定します。

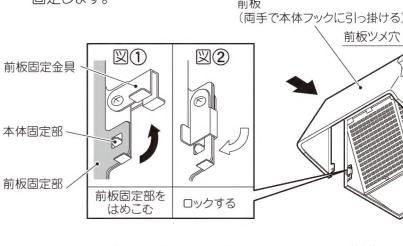
## ● ファンや部品の取り付けは確実に行うこと 落下によりけがをするおそれがあります (1) スロットフィルタを取り付けます。

(2) 前板を両手で持ち、本体のフック(左右2ヶ所)に引っ掛けます。 (3) 前板ツメ穴を本体ツメ部にはめこみ、すきまができないようにななめに 押し上げます。

9.組み立て

(4) 前板固定金具を回転させた状態で、前板の下の前板 固定部を本体固定部にはめこみます。(図①)

(5) 前板固定金具(左右2ヶ所)を 下図②のように回転させて ロックを確認し前板を確実に 固定します。



(6) 「3.本体の準備」にてはずしたコネクター を差し込みます。



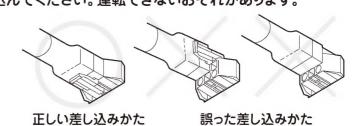
本体ツメ部・

VIIIII

## お願い

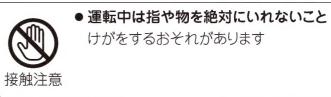
● 前板の取り付けは、確実に行ってください。確実に取り付けが行われない と、ご使用の際に前板が落下しけがのおそれがあります。

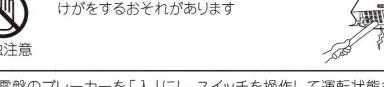
● コネクターを取り付ける場合は、コネクターの向きを確認して確実に元まで 差し込んでください。運転できないおそれがあります。



## 10.試運転

注





■ 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認して

スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。 ■運転時、各速調の排気が正しく行われていることを確認してください。

■異常な騒音、振動がないことを確認してください。

■屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。

■取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て 有料となりますのでご注意ください。

# 11. お客様への説明

■取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。 ■取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

> 富士工業株式会社 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号

> > TEL 042(768) 3754 (営業部)